

2018年4月
1138号

百葉

Manyok

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

希望の春！ 新生の船出 「コーヒーアワー」日本タンザニア友好協会

この度、マチス・M・チカウェ大使のご配慮を頂き久しぶりに、日本タンザニア友好協会として「コーヒーアワー」を2018年4月10日タンザニア連合共和国大使公邸で開催いたしました。

同協会は2006年4月18日に「タンザニア大使公邸」において、日本国とタンザニア連合共和国並びにアフリカ諸国との平和と友好交流を促進し、世界の恒久平和実現と国際政治並びに国際経済の安定と発展に寄与することを目的に、設立されました。

設立当日は、光栄にも高円宮妃久子殿下御臨席の下、多数の御来賓に御出席頂き晴天の下発会式が執り行われました。福島の会員が「三春の滝桜」をストーブで温めて咲かせて持参、真心の高円宮妃お手植えの感動的な植樹となりました。12年経った「三春の滝桜」は、毎年見事な花を咲かせてくれています。今年は桜の開花が早く、すでに咲き終わってはおりましたが、若葉が元気に迎えてくれました。また、“プロスパーポローニア”も公邸の庭に植樹させて頂き、成長の早い事が実証された事により、3.11直後から被災地沿岸地域に「復興祈念樹」として植樹をしてきました。当日は、“プロスパーポローニア”に沢山の花が咲いて、出迎えて下さいました。感謝！と感動で開催された「コーヒーアワー」でした。

今回は日本とタンザニアのビジネス・経済交流の一環としての開催です。日本とタンザニアの平和と友好の為に、いろいろとご配慮をして下さいましたマチス・M・チカウェタンザニア連合共和国大使ご夫妻に、厚く御礼申し上げます。



ご尽力戴いたチカウェ大使御夫妻

タンザニア連合共和国・国家斉唱のあと、矢野哲朗最高顧問・アフリカ開発協会会長より大使ご紹介及びご挨拶がありました。また矢野会長より参加者全員にお土産を頂戴し、温かいおもてなしの真心に感動致しました。上水道の法整備、タンザニア訪問・キクウィテ大統領就任の式典(2006年12月)・北京での首脳会議(2006年11月)など活動の取り組みについてスピーチして頂きました。

大槻明子会長から、2006年の発足以来のエピソードを語りながら、経過報告がありました。



2010年に植樹したプロスパーポローニア
素晴らしい成長です

次に佐藤啓太郎最高顧問・元在タンザニア共和国大使よりご挨拶がありました。タンザニアへ中国製の飛行機で行った時、乗っていたのは3人。空調がきかなかったこと。外から鍵をかけられ、部屋のドアが開かなかったこと。お土産にホロホロ鳥を頂いたが問題が起きたため、諦めて売って他の鳥を買って関係者にご馳走したこと。等・・・ユニークなエピソードをお話して下さいました。陰に陽に、アフリカの発展に貢献して下さい、心から感謝申し上げます。

続いてチカウェタンザニア連合共和国大使よりご挨拶があり、多くの事を学びました。雄大な自然と野生と動植物の宝庫であるタンザニアは、アフリカのリーダー国であり、自然遺産や文化遺産も多く、観光地としても有名です。アフリカで一番高い山キリマンジャロ・アフリカで一番大きなビクトリア湖・ビーチ・海岸もありますので、水平線や地平線の色を変える朝日や夕陽の美しさはまさに絶景です。

観光の他に、交通・ホテル業・漁業などの産業があります。大使として力を入れているのが、1、教育 2、健康・医療 3、農業（コーヒー・紅茶・お米等・・・）です。

チカウェ大使ご夫妻に感謝を込めて贈呈式を行いました。

○凧の額 ○文房具 ○書 ○鯉のぼり



大きな真鯉は3m50cmもあります



贈呈した文房具



書を贈呈

続いて小笠原沙慧さん お弟子さんの小峰泰子さんによるお琴演奏。「桜」「お祝いの曲」を披露して頂き、上品で優雅な音色に魅了されました。

その後、出席した皆さんがタンザニア大使ご夫妻を中心に、サンドイッチ・フルーツ・クッキー等をほおぼりながらの語り。それぞれ各自が思い出深い交流の場となりました。

なかでも、大使閣下から差し入れして戴いた「タンザニアコーヒー」をはじめタンザニアのお菓子の味は忘れられない特別な物となりました。また一人ひとりにとって大使ご夫妻との記念写真は貴重なひと時とともに、歴史に残る出来事となりました。



お琴の黒田節の演奏に合わせて出席者で合唱

石田尊昭理事長・尾崎行雄記念財団理事・事務局長からは、お互いの幸せの為に行うのが、ビジネス交流です。交流の出発が今日この日です。これを明日に生かしていくことがとても大事だと思います。と挨拶がありました。

文責：平間研究員